

当地情勢について（新居大使からのメッセージ）

イスラエル駐箚日本国特命全権大使の新居雄介です。

昨年１０月に発生したガザ地区の武装勢力とイスラエル軍との間での交戦開始以降、イスラエルにおいては、ガザ地区、レバノン（ヒズボラー）、イエメン（ホーシー派）、イラン等との攻撃の応酬が続き、特に夏以降はテルアビブなどの主要都市を含め各地にミサイルが頻繁に飛来するなど緊迫した情勢が続いてきました。

他方、１１月２７日にレバノンとの停戦が発効した後は、イスラエル北部の一部を除き、ヒズボラーからの攻撃により警報が吹鳴する事案は発生していません。

また、ガザ地区からの攻撃についても、現在においては、ガザ地区周辺に限られる状況となっています。

以上を踏まえ、当館としては、一部地域を除いて最近において情勢は大きく改善していると評価しています。

イスラエルでは、一部地域を除き、商店街やレストランは賑わい、経済活動も活発に行われています。海外からの投資についても引き続き顕著です。

在イスラエル日本国大使館としても、引き続き邦人の皆様の安全確保に万全を尽くすとともに、当地で活動する日本企業を積極的に支援していく所存です。

引き続き、日本とイスラエルの関係の促進に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年 12 月 13 日
駐イスラエル日本大使
新居雄介